

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: R3年 2月 18日

事業所名:子育てサポートどんぐり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	・活動に合わせて、地域の空間を借りたりしながら工夫をしている。	・活動に合わせて、空間を工夫して使う、または適切と思われる空間を借りて活動を実施していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか		○	・1人1人のスキルのアップに繋がるように研修等の機会を設けている。	・現在の職員数で、いかに子ども1人1人に対して配慮ができるか、職員各々の専門性を高めていきたい。 ・職員の募集をかける。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	・危ないと思われる箇所には職員を配置し、配慮に努めている。	・子どもたちが部屋へと入るところに手すり、靴箱が固定されていたら良いという以前から意見があり、対応することができた。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・職員全員で美化清掃に努めている。	・引き続き、職員全員で対応する。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・事業所内で話し合う機会を設けている。	・引き続き、職員全員で対応する。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・事業所内で話し合う機会を設けている。	・引き続き、職員全員で対応する。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・事業所内で話し合う機会を設けている。ホームページにて公開している。	・引き続き、保護者にも協力を得ながら質を高めていきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・自己評価、保護者からの評価をもとに、業務改善に努めている。	・第三者による外部評価をしていただく機会を設けます。
適切な支援の提供	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・外部研修、内部研修の機会を設けています。	・研修に行った職員から、フィードバックできる場を設け、職員全員で検討しながら、資質の向上へと繋がります。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・計画に対して、職員全員で検討を行っています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・職員全員で情報共有を努めています。	・足りない情報はある場合は、その都度、適したツールを用います。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・職員全員で検討しています。	・より具体的に設定できるように、職員間で検討します。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか		○	・計画の立案の段階で職員全員で検討しています。	・すべての子どもの支援計画を把握しながら支援にあたれていないので、全ての支援計画の把握に努めます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○	・職員同士で話し合って活動計画をたてています。	・限られた職員で活動計画を立案しているため、全職員が立案できるようにして、職員の負担を分散させていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・職員間で話し合い、季節ならではの遊び、計画をたてています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか		○	・集団活動のなかで、個別に対応しています。	・活動や、集団によっては組み合わせる事が難しい場合もあるが、組み合わせるように活動の工夫をしています。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・打ち合わせする時間を設けています。		
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・振り返りする時間を設けています。		
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○	・ケース記録を日々つけてその日の活動の振り返りの中で、改善へつなげています。	・子どもの様子を日々話し合い、支援の配慮工夫につなげられるように、さらに深く話し合います。	
20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・定期的な面談を実施しています。	・定期的以外にもその都度、見直しの必要性があればモニタリングを実施します。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			誰が参加してもいいように、子どもの状況を職員全員で情報共有していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・研修等に参加しながら関係機関との連携をとりやすい環境をつくっています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	・医療的ケアが現在必要な子がいなくても、関係機関とつながり、相談をできる環境を整えています。	子どもの主治医と嚥下機能について相談することで、専門HPと繋げることができた。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	・医療的ケアが現在必要な子がいなくても、関係機関とつながり、相談をできる環境を整えています。	子どもの主治医と嚥下機能について相談することで、専門HPと繋げることができた。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	・幼稚園、保育園と交えて連携会議を実施しています ・送迎の時に、子どもの状況の話ができています。	・子どもが通うすべての幼稚園、保育園と連携会議ができていないので、相談支援事業に仲介してもらいながら、実施します。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・移行支援シートを用いて情報共有をしています。 ・学校に見学に行った際に話しかけています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・公開療育に職員全員参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・地域の公園にて、利用児以外の子ども達と関わりを持てる機会があります。	・活動する機会を設けます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	・会議等に参加した職員からフィードバックする機会を設けています。	職員全員が参加できるようにします。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・送迎の時に直接話をしたり、連絡帳を用いて、子どもの状況を伝えています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	・家族向けに、研修等の企画をしています。	・ペアレントトレーニングができる資格を持った者がいないので研修に参加し、養成していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約をかわす際に、説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・面談時に説明し、同意を得ています。	・より具体的に説明できるように、ガイドラインを読み込みます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・その都度、相談、悩み等に対応しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・保護者があつまる機会を設けています。	・コロナでなかなかみんなが集まる機会を確保するのは難しい部分もあるが、環境を工夫しながら、集まる機会を増やします。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・出来る限り、迅速に対応しています。	・事業所側が思う迅速と、保護者が思う迅速がマッチするように対応の体制を整えます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・毎月、会報等を発行しています。	・遅れて出さないようにします。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・同意書をとっています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・連絡帳だけでなく、送迎時やその都度連絡が必要な場合、迅速に連絡する体制を整えている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・町内会に入っており、まずは事業所を知ってもらうことに努めています。	・招待できるような行事等を企画します。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・マニュアルを用いて訓練を実施しています。 ・研修等にも参加しています。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・定期的に訓練を実施しています。	・訓練の回数を増やします。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・事前にアセスメントシートを用いて確認しています。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	・アセスメントシートを用いて子どもの情報を共有できています。	・現在、アレルギーがある子がいないが、アレルギーがある子が今後利用しても大丈夫なように、情報共有していきます。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・職員全員で共有できるようにしています。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・外部研修に参加したり、内部研修で対応について学ぶ機会を設けています。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	・文書により説明をしています。	・現在、身体拘束をする必要性がある利用児がいないが、どのようなことが身体拘束になる得るのか、説明して了承を再度得ます。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。